

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市荒町児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
3	指定期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 29,739人 (前年度比 108.5%) 平成28年度 27,407人 平成27年度 29,179人 平成26年度 26,815人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 34,370千円 (29,834千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、地域懇談会、児童クラブ保護者会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。また、地域の特性を生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だよりの発行等による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブでは季節ごとの行事を行うなど日常に変化を持たせる工夫を行っている。また、隔月発行の児童クラブ通信や保護者懇談会の実施、希望者への個別面談等を通して、子どもの様子を伝え、家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。 子どもが地域の文化や自然に触れ、多様な人や世代と交流し、地域と関わりながら育つ環境作りに取り組んでいる。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点评価		—

四 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人ワーカーズコープ ）による自己評価》
<p>平成29年度はこれまで実施した企画を継続的に実施するなどの工夫を行い、地域の方々により深く関わって頂く取り組みを中心に行いました。児童館事業へ地域の方々に関わることで、児童館全体への興味が芽生え、理解も深まり、私たちの目指す「子どもたちを真ん中に地域みんながふれあうあったか交流広場」へ邁進することができました。</p> <p>《地域交流推進事業・健全育成事業》 商店街に立地している特性を活かし、地域の方々に「地域先生」として子どもたちとも交流して頂く機会を多く設けました。特に、定期開催とした「すまいる食堂」は地区の民生委員や社会福祉協議会の皆さんからの多大なご協力を頂き、子どもたちの孤食を防ぐ取り組みを行うことができました。小学校、荒町市民センター、地域商店街など、荒町は恵まれた環境であることを意識し、児童館が地域に飛び出していきよう、今後も取り組んでいきます。</p> <p>《放課後健全育成事業》 子どもたちにとって、安心・安全な場所であることを念頭に保護者や小学校の先生方との連携を図りました。新たな取り組みとして、お迎えカードの携帯を始め安全対策を強化しました。2年目を迎えた館外サテライトも保護者の方々からの協力もあり、スムーズに運営をすることが出来ました。子どもたちの自主性・協調性を育み、自信へ繋げていけるような働きかけを行いました。</p> <p>《子育て支援事業》 転入出の多い荒町地区で、子育て中のお母さん・お父さん方が楽しく子育てできるよう、積極的に声をかけ、また、いただいた声に耳を傾ける運営を心掛けました。児童館が情報交換や友達作りの場、リフレッシュの場など、保護者のニーズに合わせた取り組みを目指し、運営を行いました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>乳幼児親子向けのプログラムでは、毎月の幼児クラブ、月2回のベビー・キッズマッサージ、隔月の0,1歳児対象行事を行うほか、「カフェ荒町」、市民センターと共催の子育てサロンなどを実施し、遊びの場、保護者交流、保護者のリフレッシュの場などを提供している。また、区家庭健康課と連携した保健師・栄養士等による育児相談・育児情報の提供等から子育て家庭支援に取り組んでいる。</p> <p>小学生を対象に、工作、文化活動、自然体験など多様な体験を通して健全育成に取り組んでいるほか、かくし芸大会や児童館まつりなどでは子どもスタッフの活躍の場を支援するなど主体性を育む取り組みを実施している。</p> <p>地域特性を生かし、商店街と連携した街探検や、地域まつりへの参加、味噌作りの実施等を通して児童と地域をつないでおり評価できる。また、孤食を防ぐ取組みとして社会福祉協議会共催で地域の方や子ども達と一緒に食事をする機会を設けた「すまいる食堂」を定期的に開催し、食を通して地域のつながりを深める取組みを実施している。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課） 子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室